

5つの領域別支援プログラム

放課後等デイサービス

令和7年1月1日作成



こども発達サポート

カラフルびわ

1. はじめに

令和 6 年度の報酬改定において、放課後等デイサービスおよび、児童発達支援では、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域連携・地域支援」についての方向性が打ち出されました。また、この4つについて、アセスメントを行うと共に、事業所の支援プログラムへの明記、個別支援計画書への明記が基本となりました。

カラフルでは、令和 6 年 4 月から個別支援計画書の用紙の変更、これまで行ってきた支援プログラムの変更を行いました。

2. 本人支援について

児童発達支援ガイドラインでは、『乳幼児期という生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期であることから、包括的かつ丁寧にこどもの発達段階や特性に応じた支援の提供が重要』また、放課後等デイサービスガイドラインでは『こどもの育ち全体的に必要な支援を組み立てていくことを重要』とし、本人支援は、5つの領域(以下5領域と記載)について明記することとなりました。

① 健康・生活

- ・健康状態の維持・改善
- ・生活習慣や生活リズムの形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

② 運動・感覚

- ・姿勢と運動・基本的技能の向上
- ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
- ・感覚の特性への対応 等

③ 認知・行動

- ・認知の特性についての理解と対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- ・行動障害への予防および対応 等

④ 言語・コミュニケーション

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・言語の受容と表出
- ・状況に応じたコミュニケーション 等

⑤ 人間関係・社会性

- ・情緒の安定
- ・他者とのかかわりの形成
- ・自己理解と行動の調整、仲間作り、社会性の発達 等

3. カラフルの放課後等デイサービスの支援プログラムについて

法人(事業所)理念		・1人ひとりのカラフルな個性が尊重され、家族や地域とともに、いきいきと自分らしく生きていける社会を目指します。		
支援方針		・1人ひとりの発達を多面的かつ全体的にとらえ支援します。 ・幼児期から学齢期まで、継続した支援を行います。		
営業時間		9時00分～17時00分		
送迎の有無		送迎車による送迎があります。		
支援内容				
本人支援	① 健康・生活	・生活の土台となる、心身の健康状態の把握を行います。(睡眠や服薬の把握・体温計測・家庭の健康状態の把握・日常の健康状態の観察) ・自立支援として、身の回りの持ち物の片付け・おやつや食事、排泄や衣服の着脱など、基本的な日常生活の獲得を支援します。 ・生活リズムの安定を図ります。		
	② 運動・感覚	・いろいろな粗大運動遊びを通して、体幹を育て、食事、おやつ、学習などの姿勢保持の安定、手先の操作性の向上につなげます。 ・運動を通して、学習や生活の土台となる身体づくりを目指します。 ・いろいろな感覚運動遊びの中で、感覚の偏りや過敏、鈍麻など感覚面への支援をします。		
	③ 認知・行動	・アセスメントを通して、スケジュールやカレンダーなど個々に必要な支援を行い『わかる』『見通しをもつ』中で活動できるようにします。 ・楽しい活動を設定する中で、成功体験を積み、自ら選ぶ、主体的に活動するなど、意思決定の力を育てます。 ・個々の特性に配慮しながら、こだわりや偏食に対して支援を行います。 ・いろいろな活動の中で、満足感、達成感を積み上げ、自己肯定感を育てます。		
	④ 言語 コミュニケーション	・様々な経験や活動を通して、場面や状況にあった言葉の使い方、気持ちの表現の仕方を育てます。 ・個々の発達に配慮し、表出のコミュニケーションを育て、気持ちや生活の安定につなげます。 ・他者と円滑な関係を築く聴く・話すだけではない、表情・しぐさ、声など様々なコミュニケーションについて支援します。		
	⑤ 人間関係 社会性	・遊びや活動を通して、人とかかわる力や社会性を培います。 ・集団活動やルール遊び、他者とのかかわりを通して、自分の気持ちをコントロールする力を支援します。 ・様々な経験を通して、興味・関心の幅を広げ、余暇活動の充実や自立につなげます。		
家族支援	・保護者の悩みに寄り添い、行動の背景を考えながら、課題解決に向けてご家族をサポートします。		移行支援	・本人、家族を支援の中心に置き、相談支援事業所と連携を取り、どのようなサービスが適切かを考え、必要に応じ、他のサービスへのスムーズな移行を目指します。

地域支援 地域連携	・必要に応じ、在籍園や就学先となる学校、幼児課、健康推進課等の関係機関と連携をとります。 ・複数の福祉サービスを利用している児については、必要に応じ、他事業所と連携をとり、支援の積み上げを図ります。	職員の質 の向上	・キャリアアップ研修、専門分野別研修等受講。 ・ケース検討会議を通して、職員一人一人の支援の質の向上。 ・スーパーバイザーによる実践研修。 ・市からの外部講師による、虐待防止、災害対策等の研修会の開催。
--------------	--	-------------	--

4. 主な活動と 5 領域のつながり(放課後等デイサービス)

・自立支援 (荷物の整理、排泄、衣服の着脱)	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション
・始まりの会、帰りの会 (発表の時間の設定)	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・季節の制作、創作活動	①運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
・外遊び、散歩 (公園での遊具遊び、おにごっこやマラソンなどの運動)	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・ごっこあそび ・ルールのある遊び ・チームで行う遊び ・勝ち負けのある遊び	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・感触遊び (粘土、スライム、ボールプール、新聞)	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・社会科見学、買い物体験	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・農園芸体験	②健康・生活 ②運動・感覚 ⑤人間関係・社会性
・体育館遊び、山登り、プール活動 スポーツ大会	①健康・生活 ②運動・感覚
・クッキング	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・学習支援 (宿題支援)	②運動・感覚 ③認知・行動
・親子活動 (クリスマス会、夏祭り)	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性